

議事 2 「医療提供体制整備について」



令和7年2月13日
愛媛県難病医療連絡協議会事務局

これまでの協議会の内容

- **難病患者の療養生活支援のための連携が不十分**
→ **連携シートの作成を開始**
- **災害時の対応に困難感があり**
→ **専門研修の実施**
 避難先の確保に向けた具体的な検討を開始

連携シートについて

【作成の参考になる意見】

- ・人工呼吸器の患者を在宅に繋ぐ場合、何をどう準備したらよいのか
- ・共通の様式があると認識を共有しやすい。
- ・情報の受け手と出す方の情報の差があるのではないか
- ・制度や在宅療養環境についての情報あればよい
- ・多職種との連携が必要であるが、その職種に何を相談すればいいのかわかる方がよい

【病院訪問の結果と方向性】

地域連携する際、診療情報提供書、入退院支援ルールの情報シートや看護サマリーを活用しているという意見があった。そのため、支援の参考になるもの、必要時チェックし活用していけるシートの作成を目指す

連携シートについて

【方法】

- 難病医療拠点・協力病院訪問時に
各医療機関の医師、連携室スタッフ聞き取り
- 既存の退院調整・地域連携シートを参考に
内容を検討
- 関係機関等と意見交換し、内容を検討
- 連携シートを使用しながら改良を加える

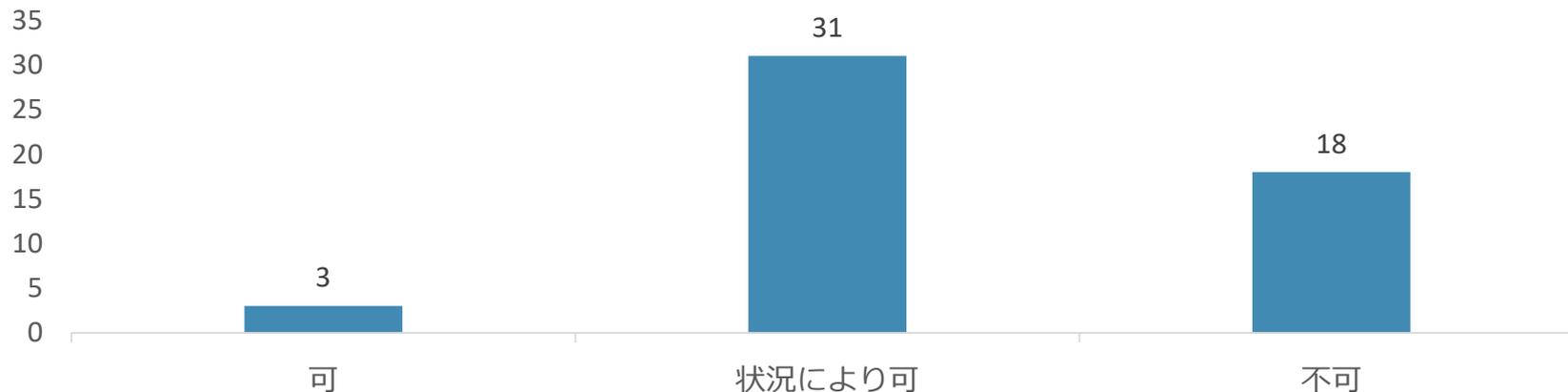
連携シートについて

	検査入院・確定診断	在宅導入期 (病院)	在宅準備・移行期 (病院)	在宅以降直後 (在宅)	在宅継続期 (在宅)
病院医師・ 看護師					
連携室					
保健所保健師					
難病医療コー ディネーター					
訪問看護師					
介護支援専門員・ 相談支援専門員					
福祉サービス提 供者					
かかりつけ医					
医療機器メー カー					
市町村保健師・ 福祉担当者					

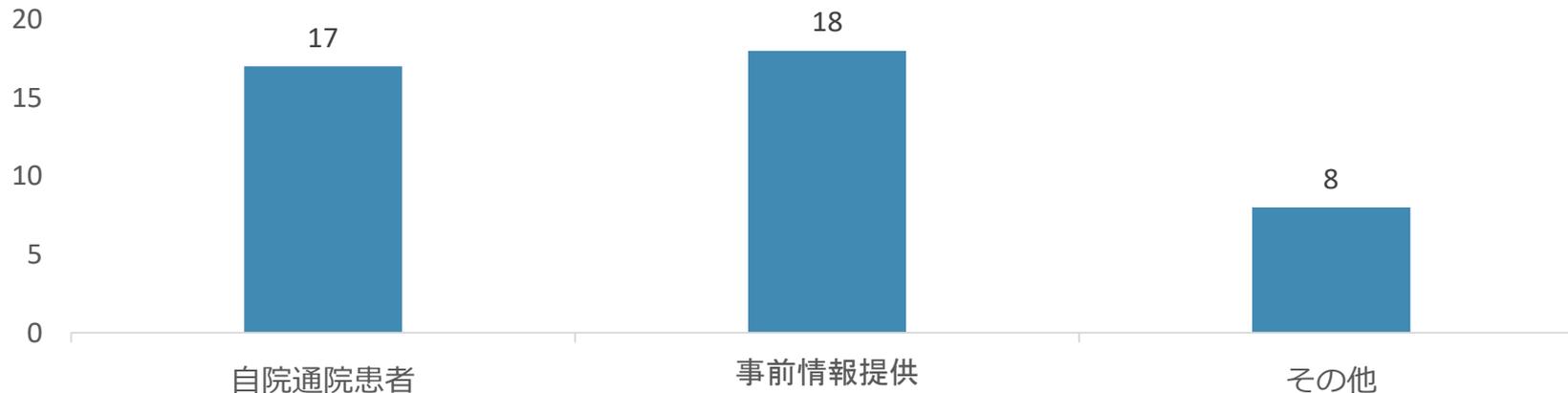
関係機関と
内容を検討中

災害時の対応について（R6年度アンケート調査より）

難病患者の電源確保のための入院を受け入れられますか

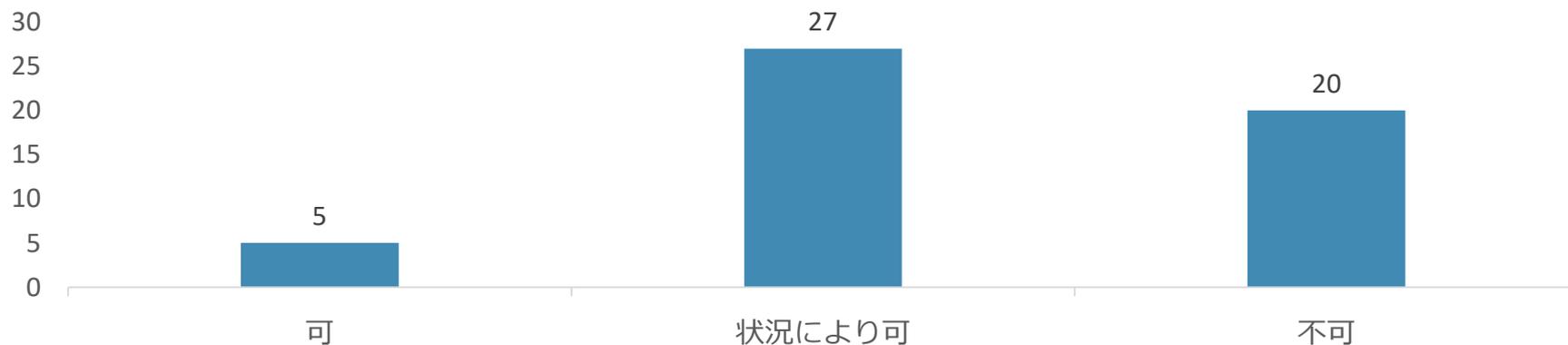


状況により可の内訳（複数回答）

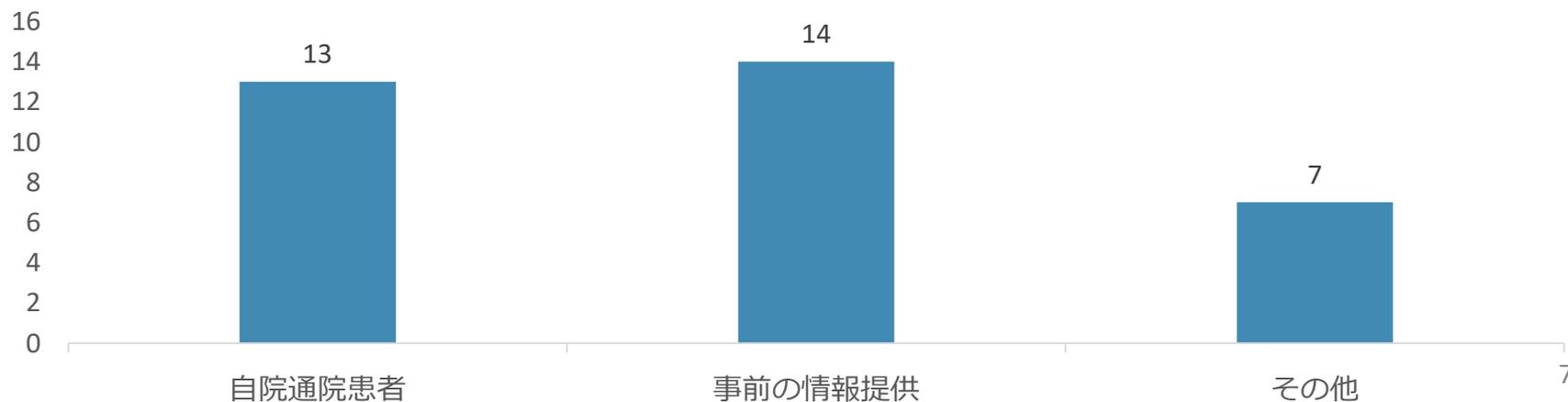


災害時の対応について（R6年度アンケート調査より）

外部バッテリーの充電のみの対応はできますか。



状況により可の内訳（複数回答）



複数医療機関ヒアリング

- ・ 災害時には病院も被災しており、マンパワー的に対応が困難なことも予想される
- ・ スペースの確保も難しい場合も想定される
- ・ 非常用電源は確保してあるものの、入院患者用のものであるため、災害時に難病患者にも使用可能とまでは言い切れない
- ・ 個々の事例により、検討可能な病院が多数



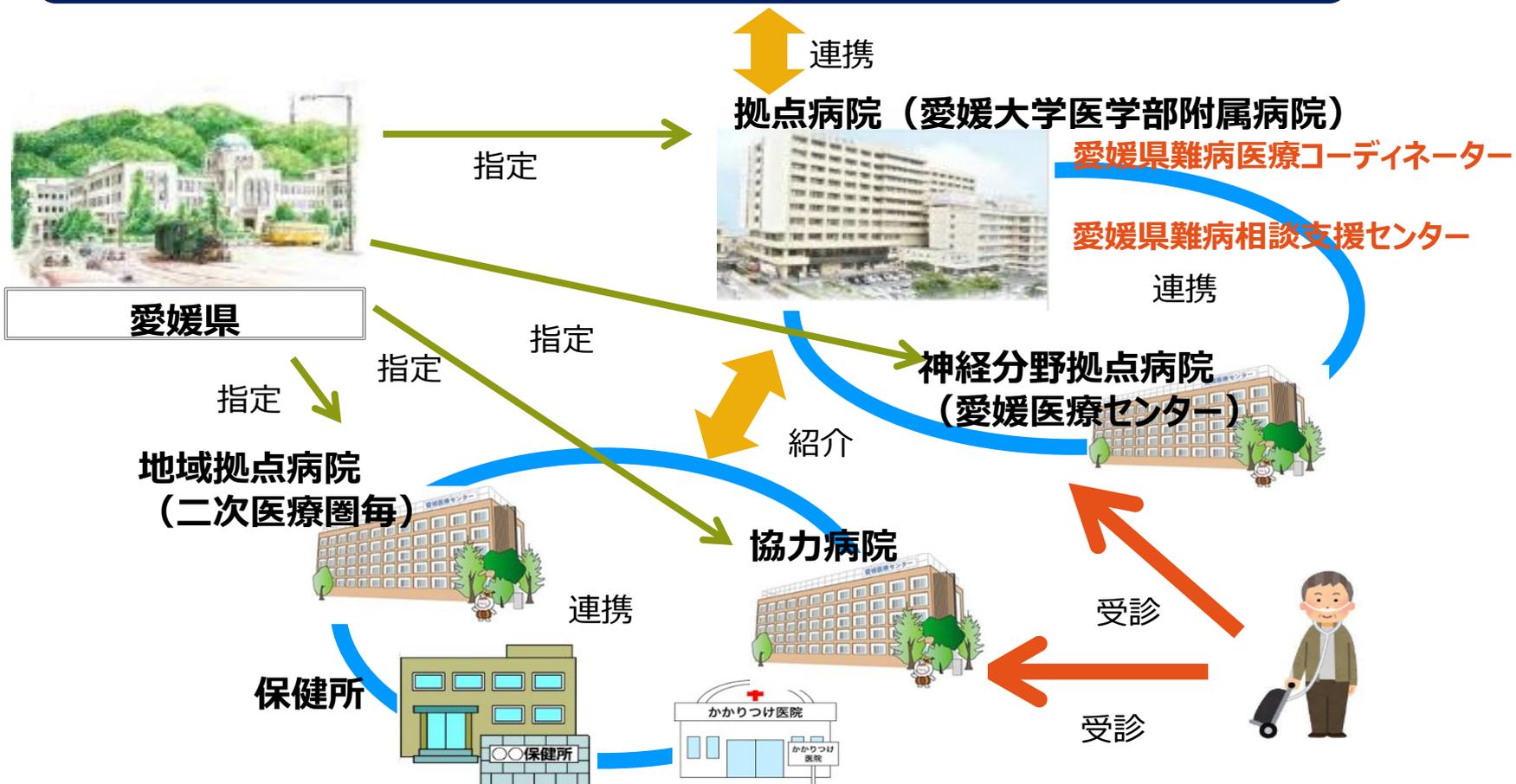
圏域や患者の状況を踏まえながら、個別に対応方法を関係機関と協議

愛媛県の難病医療提供体制

1. できる限り**早期に正しい診断**ができる体制
2. 診断後はより**身近な医療機関で適切な医療**を受けることができる体制を確保する

難病医療支援ネットワーク

(国立高度専門医療研究センター、難病研究班、各分野の学会、IRUD)



県内の拠点・協力病院

美須賀病院を
協力病院に追加指定

★	拠点病院（中核）	1	（神経）	1
◆	地域拠点病院	5		
▲	協力病院	49		



協力病院の候補

【今治圏域】

- ・ 美須賀病院

気管切開の神経難病患者の長期受入れの実績があり

難病患者の療養体制の整備の一助となっている

【宇摩圏域】

- ・ 西岡病院

神経難病患者のレスパイトの受け入れや往診等の実績あり

難病患者の療養体制の整備の一助となっている

協議内容

- ・ 連携シートの作成方針及び内容や様式について
- ・ 難病患者の災害時の受け入れ体制について
- ・ 協力病院・拠点病院の新規指定について承認